



人類に
奉仕する
ロータリー



John

ジョン・ジャーム
2016-17年度国際ロータリー会長

No.17

Takasago Rotary Club

週報

高砂

クラブ会長方針

“素晴らしい仲間を持とう”

- ① ロータリーは親睦から
- ② 利他の心を持とう
- ③ フィロソフィを持とう

例会記録 (2016. 11. 11 (金)) 通算3,101回

◆開会

◆唱歌 ロータリーソング「我らの生業」

◆「四つのテスト」唱和

◆ゲスト紹介

藤原 愛様 (司会者)

◆歓迎歌「松の緑」

◆プログラム予定

11月18日 (金)	11月25日 (金)	12月2日 (金)	12月9日 (金)
卓話 「マイナンバー制度」 池澤加代子様 (社会保険労務士)	卓話 「自己紹介」 西田秀雄会員	卓話 「米山奨学生」 ラウン・ピタクサ・ チョンニカーン氏	年次総会 次年度理事役員決定

◆出席報告

本日11月11日 会員数39名 出席者21名 出席率 70.00%
前々回10月28日 会員数38名 修正出席者38名 出席率100.00%修正

◆MAKE-UP

森本 幸吉会員	ポリオ撲滅チャリティーゴルフ	10月20日 (11月11日)
山川 晃禎会員	e-CLUB	11月 7日 (11月25日)
山川 晃禎会員	e-CLUB	11月 6日 (11月18日)
後藤 純次会員	e-CLUB	11月 6日 (11月11日)
堀 直樹会員	e-CLUB	11月 6日 (11月11日)
大久保義郎会員	e-CLUB	11月11日 (11月11日)

◆S. A. A. (ニコニコ箱報告)

中野 哲郎会長……藤原愛様、本日の卓話「話し上手、聞き上手」楽しみです。

豊田 克義幹事……平成28年11月9日(水)タカミ会ゴルフコンペ 播州東洋G.C.で
97で回り人生で初優勝しました。

丸山 恵右会員……結婚記念日祝を頂きありがとうございました。

◆幹事報告 (3,101回)

〈ガバナー事務局より〉

◎『2017-18年度クラブ情報入力のお願い』が届いております。

〈例会変更のお知らせ〉

◎加古川平成ロータリークラブ

12月21日(水) → 12月17日(土) 午後6時に変更 忘年家族例会のため

12月28日(水) → 例会取り止め

平成29年1月4日(水) → 例会取り止め

◎加古川中央ロータリークラブ

12月22日(木) 12:30～

→ 18:00に変更 年末家族例会のため

於：加古川プラザホテル2階

12月29日(木) → 休会

◎高砂青松ロータリークラブ

12月28日(水) → 休会

◎加古川ロータリークラブ

12月20日(火) → 12月17日(土) 18:00～ 年末家族例会のため

12月27日(火) → 例会取り止め (定款第6条第1節 (C))

平成29年1月3日(火) → 休会 (定款第6条第1節 (C))



豊田克義幹事

〈その他〉

◎東播第2グループガバナー補佐 矢野宗司様より

『東播第2グループ会長・幹事会のお知らせ』が届いております。

◆会長の時間

今日は、藤原愛様に「話し上手、聞き上手」ということで卓話をいただきます。私は、話し上手は聞き上手と思っています。いくら流暢に話をしても演説のように一方通行では会話になりませんし、また話していても、聞いている相手に反応がなければ会話にもなりません。もう一歩進んで言うと「話させ上手」が一番の「聞き上手」ではないでしょうか。

ひとつの確信を言いますと、この中のロータリーメンも経験があると思いますが、わざわざお金を払ってまでも聞いてもらいに行っている方が多数おられることから「話させ上手」が一番の会話上手です。

彼女たちの究極の相槌が「すごーい」「それから」です。私も、ここまで分かるのに沢山投資しましたがリターンはありませんでした。

さて、私は究極の「話し上手」は落語と思っています。人は場面や内容を変えないと同じ内容の話はせいぜい3分までしか聞くことができません。そういう意味では落語は凄いのと思います。今日は落語について少し調べてきましたので、説明します。

「落語」とは、噺の最後に「オチ」がつくのが特徴で、歌舞伎など、ほかの伝統芸能と違い、身振り手振りのみで噺を進め、一人何役も演じます。衣装や舞台装置などを極力使わず、演者の技巧と聴き手の想像力で噺の世界が広がっていく、とてもシンプルで身近な芸能です。

噺の構成は、マクラ、本題、落ちが基本構造となっています。

「マクラ」とは、本題への導入部で、小咄などで笑わせて、本題の前に聴衆をリラックスさせることなどの役割を果たします。

「本題」は、笑いが主体の滑稽噺が大半を占め、他に人情噺や怪談噺などもあります。

「落ち」は、滑稽噺における噺の締めくくり、笑いをともなう結末の事であり現在でも日常語として当たり前で使用されています。特に関西人は使わなだめです。

なお、「落ち」で重要なことは、聴衆に対し、「噺はこれでおしまい」と納得させることと考えられますので、納得できるような「落ち」のあり方が求められるということで、まさに究極の「話し上手」の技巧ではないでしょうか。また、現在では「古典落語」のほか「創作落語」なんかもあって大変面白いのです。ただ、年期というのですか、以前ロータリーでも行きましたが繁昌亭で出てくる落語家も後に出てくる人の方が面白いです。東京の呼び方では前座より二ツ目、二ツ目より真打ちが断然面白いです。上方落語では真打ち制度は無いようですが、私も飲み屋で真打ちにまでならないようにします。



中野哲郎会長

◆本日のプログラム

卓話「会話術：話し上手、聞き上手」

株式会社ファンファン 代表取締役 藤原愛様



◎藤原愛様のプロフィール

藤原様は、音楽大学卒業後、ピアノ奏者からフリーアナウンサーに転身。

パーティーや式典などで司会を務められ、特にウェディングは2000組を超えるカップルを担当してこられたそうです。

現在は司会業のかたわら、女性のためのビジネススクール「女子の学校」を主宰。働く女性、働きたい女性をターゲットにご自身の経験を活かされた、枠にとらわれない講座が幅広い年代の女性から支持されています。

本日は「話し上手、聞き上手」というテーマでお話頂きました。

会長 中野 哲郎 幹事 豊田 克義
例会日時 毎週金曜日12時30分より
高砂ロータリークラブのホームページのURL

雑誌会報委員長 後藤 宗久
例会場 高砂商工会議所 2階会議室
http://www.winwin.ne.jp/~takasago_rc/